



福岡の神仏の世界

九州北部に華開いた信仰と造形

特別展 「福岡の神仏の世界—九州北部に華開いた信仰と造形—」開催!

福岡は、いにしえ「遠の朝廷」大宰府が置かれて、律令国家による地方支配の重要拠点となり、また大陸との交流の窓口となりながら、個性的な歴史をはぐくんできました。そしてここには個性的な信仰文化も形成されて、福岡ならではの神仏の世界が華開くことになったのです。本展は、国指定文化財、福岡県指定文化財を主とする福岡の仏像と、通常は拝観が困難な神像までが、一堂に会する貴重な機会です。信仰に関わる出土遺物や、寺社の境内絵図なども併せて展示します。本展会場にて、福岡の神仏の世界の魅力と、千年以上の長きにわたって神仏が共生してきた、日本の信仰の原風景を体感していただければと思います。

会 期 平成26年10月10日(金)～11月30日(日)

場 所 九州歴史資料館第1・2・4展示室(要観覧料:通常料金で観覧いただけます)

お知らせ 特別展開催記念講演会(要申込み)

平成26年11月1日(土)「福岡県の仏像」八尋和泉氏(元当館参事・元別府大学教授)

第24回企画展

第1展示室(要観覧料)

政治家 野田卯太郎から見る日本の近代

平成26年12月9日(火)～平成27年2月1日(日)

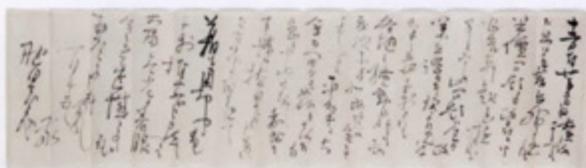
野田卯太郎(1853～1927、俳号：大塊)は、現在のみやま市出身の明治・大正時代の政治家です。自由民権運動に参加して福岡県会議員に当選し、さらに立憲政友会の代議士となります。そして政党内閣の樹立に奔走し、後に自らも入閣を果たしました。また銀行・紡績会社経営や鉄道の建設、さらに当時、朝鮮に置かれた東洋拓殖株式会社の経営にも参画するなど、政治・経済の多方面で活動しており、その生涯はそのまま日本の近代史に重なるものといえます。

本展では、野田の歩みに関する資料を展示し、野田の生涯を通して、日本の近代をながめていきます。

(本展示はJSPS科研費24720315の助成を受けたものです)



野田卯太郎(『野田大塊伝』より)



原敬書簡

主な展示資料 衆議院議員当選証書(九州歴史資料館所蔵)

原敬書簡(九州歴史資料館所蔵)

通信大臣官記(みやま市教育委員会所蔵)

関連イベント

記念講演会「『地方の時代』が生んだ政党政治家
-野田卯太郎の活動と関係文書の意義-」
(要申込み)

講 師：有馬学氏(福岡市博物館長)

日 時：平成27年1月17日(土) 13:30～16:00

第25回
企画展海 -原の辻遺跡と壱岐の至宝-
の王都・一支国

第1・2・4展示室(要観覧料)

平成26年12月9日(火)～平成27年3月8日(日)

九州と朝鮮半島の間には浮かぶ島・壱岐。古来より壱岐は海上交通・交易の要衝として重要な役割を果たしてきました。本展では、「『魏志』倭人伝」に記された「一支国」の王都・原の辻をはじめ、全長91mで長崎県最大の前方後円墳・双六古墳から発見された国指定重要文化財資料など“東アジアとの交流の歴史”を物語る資料を展示します。また、原の辻歴史年表と弥生時代に栄えた集落カラカミ遺跡や車出遺跡群の出土品など“弥生時代の一支国”を体感できる展示空間が見どころです。

主催：九州歴史資料館・壱岐市教育委員会



龍線刻土器(原の辻遺跡)

北齊製三彩陶器
(双六古墳)

主な展示資料 中国北齊製二彩陶器・龍線刻絵画土器・原の辻遺跡出土資料(いずれも国指定重要文化財)

関連イベント 一支国博物館出前体験イベント(当日受付)

「貝殻アート・風作り・ガラス勾玉作り」

日 時：平成27年2月1日(日)10:00～16:00

関連講座 「一支国の王都 原の辻の全貌」(要申込み)

講 師：松見裕二氏(壱岐市教育委員会)

日 時：平成27年1月10日(土) 13:30～15:30

第26回企画展

第1展示室(要観覧料)

北部九州における古墳の終焉

平成27年3月10日(火)～5月10日(日)

3世紀後半頃に出現した古墳は、5世紀頃まで大型化の道を歩み、地域の支配者層の権威を表象する存在となりました。しかし、7世紀に入る頃から小規模化が進み、7世紀末頃にはほとんど姿を消し、その後は火葬墓などの古代墓制へと転換します。

終焉へと向かう古墳文化のあり方は、単なる墓制の衰退を示すのではなく、律令国家の完成に向けた地域支配の浸透を映す鏡でもありました。

本展では、古墳文化の終末期である7世紀代に焦点を当て、古墳文化の終焉過程から、律令国家形成期の北部九州の様相に迫ります。

(本展示はJSPS科研費24720370の助成を受けたものです)



観音山古墳群中原支群(那珂川町)

主な展示資料 元岡古墳群G6号墳出土資料(福岡市所蔵) 船原古墳出土土器・金銅製品(古賀市歴史資料館所蔵)
手光波切不動古墳出土須恵器・馬具(福津市教育委員会所蔵)

第1展示室(要観覧料)

特集展示 大宰府の役所

—大宰府政庁周辺官衙跡不丁地区成果展—

平成27年2月10日(火)～4月5日(日)

奈良～平安時代の役所、大宰府の施設は、重要な儀式や最高意思決定の場である政庁跡を中心に広がっていました。この特集展示では、工房や事務官庁が集中していた官庁街である不丁地区の調査研究成果を、出土遺物とともに紹介します。



不丁地区出土木簡

文化情報広場

パネル展示 保存科学成果展

—古賀市船原古墳遺物埋納坑出土資料—

平成27年3月24日(火)～6月14日(日)

昨年、全国的に注目された古賀市船原古墳では、遺物埋納坑出土馬具のCT調査をはじめ、古墳の様相を明らかにするための様々な科学的な調査が進行しています。こうした科学のメスが入った船原古墳の今を、パネル展で紹介します。



調査の様子

九州歴史資料館・分館行事予定 平成26年10月～平成27年3月

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	常設展示：「歴史(とき)の宝石箱」【12月9日(火)～12月27日(土)、1月6日(火)～3月8日(日)、3月11日(水)～3月31日(火) (第1展示室)】 特別展示：10月10日(金)～11月30日(日) 特別展「福岡の神仏の世界～九州北部に華開いた信仰と造形～」(第1・2・4展示室) 企画展示：12月9日(火)～2月1日(日) 第24回企画展「政治家 野田卯太郎から見る日本の近代」(第1展示室) 12月9日(火)～3月8日(日) 第25回企画展「海の王都～支国 原の辻道跡と壱岐の至宝～」(第1・2・4展示室) 3月10日(火)～5月10日(日) 第26回企画展「北部九州における古墳の終焉」(第1展示室) 3月10日(火)～7月下旬 第27回企画展「きょうおにとタイムトラベル～大昔のくらしと国づくり～」(第2・4展示室) 特集展示：2月10日(火)～4月5日(日) 「大宰府の役所～大宰府府政周辺官街跡不丁地区成果展～」(第1展示室) パネル展：10月7日(火)～12月27日(土) 「黒田官兵衛と城」(第3展示室前廊下) 3月24日(火)～6月14日(日) 「保存科学成果展～古賀市船原古墳遺物納坑出土資料～」(文化情報広場)
	九 歴 講 座：全12回 第2土曜日(第9回～第12回は10月より申込開始。定員160名。定員になり次第締切) 夜のギャラリートーク：10月24日(金)、12月17日(水)、3月4日(水)19:00～20:00(事前申込不要、但し観覧料が必要) 福岡県歴史講座：11月1日(土) 「福岡県の仏像」八尋和泉氏(元当館参事・元別府大学教授)(要事前申込) 文化財めぐり：11月3日(月・祝) 「観世音寺と太宰府の史跡をめぐる」(申込受付は終了しました) 現地説明会：10月25日(土) 大宰府史跡「蔵司地区」発掘調査現地説明会(事前申込不要) イベント等：10月13日(月・祝) 特別展開催記念茶会(事前申込不要) 10月19日(日) 特別展開催記念 アクロス福岡ミュージアムコンサート(事前申込不要) 2月1日(日) 企画展関連「一支国博物館出前体験イベント(勾玉作り・風作り・貝殻アート)」 (参加無料、事前申込不要、先着順(整理券を発行))
発掘調査	特別史跡大宰府跡調査(蔵司地区)・特別史跡水城跡・特別史跡大野城跡・城内遺跡発掘調査 4月～3月
求 菩 提 資 料 館	常設展示：「求菩提修験道の世界」 特別展示：10月11日(土)～11月16日(日) 求菩提資料館開館40周年記念特別展「天狗 山を駆けろ」 ＊九州初上陸、生身遊歴羅王尊像(カラス天狗のミイラ)を展示 開館40周年記念講座：10月18日(土) 「魅力的に自然と共に生きる」テレビでおなじみの高木美保さんがやって来る!! ＊入場無料(ただし整理券が必要)、会場は豊前市市民会館 オープニングアトラクション：中村子ども神楽 特別企画歴史講座：第1回 10月25日(土) 「知のディズニーランド～九州国立博物館の世界への挑戦～」赤司善彦氏(福岡県教育庁文化財保護課長) 第2回 11月 8日(土) 「山と聖(せい)・ひじりと修験道」長野賢氏(日本山岳修験学会顧問) ＊受講無料、会場はいずれも豊前市総合福祉センター2F 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします
	〒828-0065 豊前市大字高井247 TEL・FAX 0979-88-3203
甘 木 歴 史 資 料 館	秋季企画展：10月7日(火)～11月30日(日) 第53回企画展「朝食の歴史と食文化一日田・秋月街道を中心に」 企画展講演会：10月25日(土) 「秋月の葛生産」高木久助氏(廣久葛本舖十代目) ＊申込みが必要、会場はビーポート甘木 新春企画：1月6日(火)～1月18日(日) 「今年の干支展」 特別展示：2月3日(火)～2月15日(日) 「発掘調査速報展」 ＊「特別講演会」 2月7日(土) 春季節展：3月17日(火)～4月5日(日) 「あ！さくら展」 ＊「さくらコンサート」3月28日(土)
	〒838-0068 甘木市甘木216-2 TEL・FAX 0946-22-7515
柳 川 古 文 書 館	常設展示：1月21日(水)～2月8日(日) 「保存のかたち～史料を守り、伝える～」(入館無料) 企画展示：10月1日(水)～11月16日(日) 「秀吉の古文書一宗茂、吉政、そして官兵衛」 11月19日(水)～1月18日(日) 「風景王国～富士山画家能登かみた山河一」 2月11日(水)～4月5日(日) 「松井家・立石家のおひなさま(仮)」 市史歴史講座：10月4日(土) 柳川文化資料集第2-4「安東省菴集 翻字編」の成果を分かりやすく解説 歴史文化講演会：11月29日(土) 企画展「風景王国」に関連して植野健彦氏(福岡大学教授)・山下善也氏(東京国立博物館主任研究員)が講演 ※歴史講座・歴史文化講演会は柳川市立図書館2階A Vホールにて開催、入場無料、事前申込不要
	〒832-0021 柳川市藤町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559

各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



福岡県内の指定文化財

かけのうまこうごし

鹿毛馬神籠石〔国指定史跡〕

飯塚市鹿毛馬

鹿毛馬神籠石は、鹿毛馬川右岸の丘陵(標高40～70m)に築かれた古代の山城です。貝原益軒の『筑前国統風土記』には、「四方に石垣をつき巡らせり」と出てきます。

外郭線は全長約2kmで、一つの谷を取り込んだ包谷式山城になります。列石は馬蹄形に巡らせていますが、北東側は確認されていません。谷部は基部幅約9m、高さ2.3mの堤体で塞いでおり、下部に石組暗渠を2ヶ所設けています。また、水溜遺構からは7世紀前半頃の須恵器甕が発見されており、神籠石の年代を考える上で貴重な土器と言えます。



(写真提供：飯塚市教育委員会)

九州歴史資料館 KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線「三国が丘駅」から徒歩12分
 《JR》鹿児島本線「原田駅」からタクシーで約5分

●自動車

《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
 《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
 《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分
 ※無料駐車場完備

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は4時まで)

観覧料 一般200(150)円 高大生150(100)円
 満65歳以上・中学生以下・障がい者(同伴介護者1名)無料
 ※土曜日は高校生も無料
 ※()内は団体料金(20名以上)

休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
 年末年始(12月28日～1月4日)

